

## ESD 演習 I (環境経済学 I)・ESD 演習 II (環境経済学 II) の履修について

### 川から始める海洋プラスチック問題—実践的調査のやり方—

#### ※注意※

履修科目の区分が入学年度によって異なりますので注意して下さい。

◇2015 年度以前入学者：経済学部専門科目      ◆2016・2017・2018 年度入学者：高度教養科目

#### — 履修者募集要項 —

日本の河川からの流入による海洋プラスチックの実態調査を通して、「調査手法の開発」を実施します。ESD 演習 I では、フィールド調査の基本の講義や先行研究、現状の川ごみ拾い活動の団体等にヒアリングなどを通して、調査手法を検討します。ESD 演習 II では、ESD 演習 I で開発した調査手法が実態として機能するかどうかを実際の実践をすることで試験します。その試験に基づいて、改善し、調査手法を確立させます。詳しくは、シラバスを参照ください。

### ●ESD 演習 I (環境経済学 I)・ESD 演習 II (環境経済学 II)

(担当：小島理沙・石川雅紀・大橋博一)

2020 年度 ESD 演習 I は、

#### 【日程】

E S D 演習 I      2020 年度前期 Semester      フィールド調査の設計を主な課題とする。

E S D 演習 II      2020 年度夏期集中      E S D 演習 I で設計した調査の実査と分析

2020 年 8 月 19 (水)      1 限 座学 (教室)      2 限以降 フィールド調査

2020 年 8 月 20 日 (木)      フィールド調査      とりまとめ

2020 年 8 月 21 日 (金)      調査結果まとめ・分析

#### 【E S D 演習 II の演習予定地】

神戸市内河川 (大学の近隣を予定)

#### 【履修者への注意】

1. グループワークをメインに行うため、E S D 演習 I の履修者数の上限を 25 名とする。また、E S D 演習 II も、実地演習とする都合上、履修者数の上限を 25 名とする。履修希望者が上限を超えた場合は、ESD コースの趣旨から、所属学部、学年の多様性及び、主体的取り組みを重視し選考する。
2. 履修希望者は、全員履修の動機、この演習で何を得たいのかについて、科目ごと (E S D 演習 I・II) にそれぞれ 400 字程度のレポートを提出すること。
3. 演習の性質上、参加する事を重視するので、E S D 演習 II は、一コマでも欠席した場合は単位を認めない。
4. レポートは 3/26(木) ~ 3/30(月) 17:00 の間に経済学部教務係に提出すること。
5. 履修が認められた場合は自動的に履修登録されるので、**4月2日(水)** にうりぼーネットで確認すること。履修登録確認表に載っていない場合は、履修が認められなかったことを意味する。
6. 成績評価は、出席、レポート、フィールド活動、討論での貢献を総合して評価する。